

令和7年度 事業報告書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日) 鈴鹿高専テクノプラザ事務局

1. 会議の開催

(1)総会 令和7年5月23日(金) 会議室B 出席者44名(うち会員企業18社) 委任97社

・令和7年度の議案書(昨年度実績と本年度事業計画)について提案のとおり承認された。

・基調講演

「活力ある組織にするために経営者としてなすべきこと」

株式会社三十三総研 代表取締役副社長 伊藤 公昭 氏

・鈴鹿高専教員による話題提供

「AVEX 未来創造研究室 ～RFID タグによる生産管理システムの開発～」

電気電子工学科 生田 智敬 准教授

「鈴鹿高専の設備利用ご案内」 藤本 慎司 校長



基調講演の様子

総会終了後、ホテルグリーンパーク鈴鹿みやびにおいて懇親会を行った。参加者24名

※助成金総計：43,127円 (R7年度予算額：10万円)

(2)理事会 令和7年4月23日(水) 15:00～16:10 イノベーション交流プラザ 2F サイエンス教育支援室

出席者29名 委任状7名

① 令和7年度 通常総会議案書(案)について

② 年度毎の事業経費の推移(設立時～令和7年度)について

③ 年間活動日程について

※助成金総計：2,709円 (R7年度予算額：1万円)

2. 事業の実施

(1)会員企業との共同研究等による研究協力の推進

1)共同研究・受託研究への支援

会員企業からの共同研究費(間接経費10%-30%を含めた研究費)の20%を担当教職員に寄附金として助成する。ただし1件20万円を上限とする。

○共同研究:8件

・ミズノテクニクス株式会社(末次特任教授他2名) 990,000円(198,000円助成)

・CKD株式会社(黒田大介教授) 1,000,000円(200,000円助成)

・旭ダイヤモンド工業株式会社(和田憲幸教授) 2,792,332円(200,000円助成)

・株式会社パワービー(板谷年也准教授) 120,000円(24,000円助成)

・太陽化学株式会社(船越一彦教授) 275,000円(55,000円助成)

・ボルグワーナー・モールスシステムズ・ジャパン株式会社(黒田大介教授) 299,000円
(59,800円助成)

・株式会社荏原風力機械(近藤邦和教授) 544,500円(108,900円助成)

・株式会社スルガ検査（打田正樹准教授他 1 名）495,000 円（99,000 円助成）

○受託研究：0 件

※助成金総計：944,700 円（R7 年度予算額：100 万円）

2) 会員企業の技術相談に関する助成

〔支援内容：同様な内容の技術相談が 1 年以内に 2 回以上に及ぶ会員企業からの相談料は、2 回目以降も無料とし、相談担当の高専教職員に寄附金として助成する。〕

○技術相談：6 件

・三重金属工業株式会社	万谷義和教授(2 回実施)	助成 13,500 円
・株式会社エッチ・エム・イー	生田智敬准教授(1 回実施)	助成 0 円
・株式会社トピア	松枝剛広准教授(2 回実施)	助成 13,500 円
・東海検査エンジニアリング株式会社	黒田大介教授(1 回実施)	助成 0 円
・株式会社スルガ検査	板谷年也准教授(2・3 回実施)	助成 27,000 円
・株式会社エッチ・エム・イー	南部智憲教授(1 回実施)	助成 0 円

※助成金総計：54,000 円（R7 年度予算額：6.75 万円）

3) 会員企業の研究設備利用

〔優遇制度：通常使用料から 30%減額にて適用される。〕

○企業会員の研究設備利用：2 件（三重県工業研究所）

4) 会員企業との共同研究等推進に関する助成

〔ランチタイムミーティング等により、企業会員と共同研究等における新たな研究テーマの創出ができた場合の研究推進費として支援する。〕

○企業会員との共同研究等における研究推進：0 件 令和 7 年度実績なし

※助成金総計：0 円（R7 年度予算額：40 万円）

5) ランチタイムミーティングによる取組み

〔共同研究等における鈴鹿高専との研究推進を目的として支援する。〕

○企業会員とのランチタイムミーティング実施：0 件 令和 7 年度実績なし

(2) 産学官の人的、情報交流の促進

企業交流会・・・[令和 7 年 12 月 17 日(水)13:00～17:00 開催]

出席者（会員企業）52 名

- ・テクノプラザ事業の進捗状況（中間）報告
- ・会員企業紹介（話題提供）

旭ダイヤモンド工業株式会社 三重工場 生産技術部

迫田 一基 様

「旭ダイヤモンド工業株式会社の企業紹介」

- ・専攻科 1 年次発表会参加（コノハナラウンジ）



会員企業交流会の様子

- ・高専教員からの話題提供

機械工学科 長谷川 賢二 准教授

「機械学習の天文分野への応用」

- ・4年生創造工学発表
- ・学生との交流会（青峰会館）

出席者 学生 29 名 専攻科生 7 名

※支出総計：62,913 円 (R7 年度予算額：6 万円)

(3) 会員企業の技術向上に関する支援

1) 企業技術者対象の講習会の実施

高専の技術者教育〔令和 7 年 9 月 25 日(木)、9 月 26 日(金)〕開催

- ・会員企業技術者、高専生を対象に「新素材キャンプ」を実施した。

参加者 会員企業 8 名 高専学生 8 名 技術職員 3 名

※支出総額計 264,000 円 (R7 年度予算額：20 万円)

2) 会員企業見学会の実施・・・[9 月 22 日(月) 午後実施]

- ・見学先 エイバックス株式会社 桑名先進工場

参加者 19 名

※支出総額計 25,841 円 (R7 年度予算額：5 万円)

3) 鈴鹿高専教員の企業訪問による『出前講座』の実施

- ・令和 7 年度実績 1 社 株式会社豊電子工業

4) 講演会及びメール等による会員企業向けの情報提供

- ・鈴鹿医療科学大学との医工連携研究会

第 18 回 SUMS-NITS 医工連携研究会〔令和 7 年 9 月 9 日(火)開催〕

第 19 回 SUMS-NITS 医工連携研究会〔令和 8 年 3 月 17 日(火)開催〕

- ・航空業界 News 等メール配信



(4) 人財確保の支援、会員企業 PR 等

1) 「企業ガイドブック 2025」の作成と学生への配布

- ・9 月 2 日(火)に会員企業あてメール通知

- ・11 月 12 日(水)実施の合同業界説明会前に本科第 3 学年・第 4 学年、専攻科 1 年次に配布

※会員企業 142 社掲載 530 部発行 613,899 円 (R7 年度予算額：68.9 万円)

2) 高専祭での会員企業展示

- ・11月1日(土)、2日(日)に開催された高専祭で、学科展示の会場である第2体育館に、企業ガイドブックの企業ページのポスター掲示、企業ブース設置(3社)、企業パンフレット展示(8社)を行い、会員企業の紹介を行った。併せてCDによる個別相談も実施した。

※高専祭協賛金：100,000円(R7年度予算：15万円)



高専祭企業ポスター掲示

3) 高専祭パンフレットへの会員企業紹介

- ・実施していない

※紹介費：0円(R7年度予算：1万円)

4) 銘板整備費用等

- ・鈴鹿高専を支援頂く企業会員、特別会員、個人会員を本校の教職員や学生に紹介し、来校者にPRを行い入会を推進した。今年度において両サイドの柱に、参加企業増に対応すべく銘板を追加設置した。(令和7年10月23日)

入退会会員銘板プレートはその都度更新した。

※銘板作成費：352,000円(R7年度予算：50万円)



テクノプラザ企業会員等の銘板

5) 合同業界説明会での会員企業紹介〔11月12日実施〕

- ・8月5日(火)に会員企業あてメール通知
応募124社、抽選にて100社へ参加案内
- ・第3学年の参加希望者、学科第4学年、専攻科1年次を対象として開催
- ・100社参加(2部制で第1部、第2部とも50社参加)
(1社、都合により当日不参加)
- ・ブース形式による実施で会員企業の皆様がポスター掲示による説明、ノートPC上での説明、工場等で製作されている製品展示(小型なものに限る)など、各企業の特色を生かしたもので開催された。
- ・過去の参加会員企業：H29 31社、H30 49社、R1 62社、R2 中止、R3 60社、R4 64社、
R5 88社、R6 100社、R7 100社

※会場設営費助成：1,500,000円(R7年度予算：約150万円)



合同業界説明会の様子

6) 会員増強コーディネーター雇用

- ・本年度目標は185社、最終200社を目指し、継続的に鈴鹿高専コーディネーターを中心に会員企業増強に努めた。

※支出総額計：1,802,500円(R7年度予算額(CD雇用経費)：160万円)

7) ホームページの整備等

- ・昨年度(R7. 4. 23 開催)の理事会にて提案し、了承を得ていた「鈴鹿高専テクノプラザホームページのリニューアル」について、年度内に完了できず、現在も作業継続中である。

※支出総額計： 55,440 円 (R7 年度予算額：50 万円)

8) 鈴鹿市ものづくり企業フェアでの活動紹介

開催されなかった。

9) 企業会員の情報共有における企業取組み発信

- ・企業会員間における技術的交流を促進するため、ホームページ上に各企業の業種等の情報を継続して掲載している。(企業会員のみが閲覧可能)

10) 高専卒業生の転職、U ターン就職希望者

- ・三重県労働局との打合せにより、法に抵触しない状態で活動を継続中である。
- ・鈴鹿高専テクノプラザホームページ上に「鈴鹿高専テクノプラザ：人材確保の支援(会員企業と鈴鹿高専生や OB 転職者希望者の輪を活かし即戦力人材の確保へ繋がります。)」として掲載している。

11) 高専 OB による知的シルバー人材活用

- ・自治体と連携し、教育機関向けに出前講座等を行った。

(5) 高専の教育、国際交流の充実および学生との交流の促進

1) 高専の技術者教育

- ・会員企業株式会社 FIXER 様提供により生成 AI について基礎から学ぶ講座を開催。学生と共に会員企業技術者も参加。会員受講 28 名 (オンライン含む)

※支出総額計： 0 円 (R7 年度予算額：10.5 万円)

2) 高専祭学科展示作品の審査と優秀作品の表彰

- ・企業交流会(12 月 17 日開催)での専攻科発表会において交流会参加者による投票で上位 3 名に優秀賞を贈呈した。また 4 年生創造工学の各学科優秀作品を発表し、交流会参加者による投票で得票の最も多かった学科に最優秀賞を贈呈した。

※支出総額計：80,000 円 (R7 年度予算額：5 万円)

3) 学生海外派遣支援

- ・R7 年度は高専機構本部からの補助充実に伴い、支援を行わなかった。

※支出総額計： 0 円 (R7 年度予算額：10 万円 (50,000 円×学生 2 名))

4) 共同研究等推進費

実施事例なし。

※支出総額計： 0 円 (R7 年度予算額：40 万円)

5) スタートアップ教育環境整備事業支援

鈴鹿高専起業家工房の運営費に対して補助を行った。設置済みの機器消耗品購入や指導学生への謝金等に使用され、鈴鹿高専のアントレプレナーシップ教育に寄与した。

※支出総額計：500,000円(R7年度予算額：50万円)

3. 事務費の支出

(1) 郵送費

切手代（総会議案書、年会費請求書等の郵送代）に支出。

※支出総額計：54,290円(R7年度予算額：6万円)

(2) 振込手数料

支払いにおける振込手数料に支出。

※支出総額計：6,710円(R7年度予算額：1万円)

(3) 文具および事務補助費

Biglobe通信費、名刺、印刷用インクその他費用に支出。

※支出総額計：131,627円(R7年度予算額：10万円)

(4) 事務委託費

テクノプラザ担当事務費用に支出。

※支出総額計：300,000円(R7年度予算額：30万円)

4. 予備費の支出

来年度実施予定の全国高専体育大会運営協賛金を援助。

※支出総額計：400,000円(R7年度予算額：30万円)

5. その他

- ・デジタルサイネージは、電子情報工学科棟1階、生物応用化学科棟1階、マルチメディア棟1階の3箇所に設置されている。



3. 会員企業への就職学生数について

- ・平成 25 年度：会員企業 7 社に 11 名
(機械工学科：2 名、電子情報工学科：2 名、生物応用化学科：3 名、材料工学科：4 名)
- ・平成 26 年度：会員企業 6 社に 7 名
(電気電子工学科：1 名、生物応用化学科：2 名、材料工学科：4 名)
- ・平成 27 年度：会員企業 4 社に 10 名
(機械工学科：1 名、電気電子工学科：2 名、生物応用化学科：3 名、材料工学科：3 名、
電子機械工学専攻：1 名)
- ・平成 28 年度：会員企業 9 社に 17 名
(機械工学科：4 名、電気電子工学科：2 名、電子情報工学科：1 名、生物応用化学科：2 名、
材料工学科：8 名)
- ・平成 29 年度：会員企業 9 社に 15 名
(機械工学科：5 名、電気電子工学科：2 名、電子情報工学科：0 名、生物応用化学科：4 名、
材料工学科：4 名)
- ・平成 30 年度：会員企業 10 社に 14 名
(機械工学科：3 名、電気電子工学科：0 名、電子情報工学科：0 名、生物応用化学科：7 名、
材料工学科：3 名、応用物質工学専攻：1 名)
- ・令和元年度：会員企業 16 社に 18 名
(機械工学科：0 名、電気電子工学科：2 名、電子情報工学科：1 名、生物応用化学科：5 名、
材料工学科：7 名、応用物質工学専攻：3 名)
- ・令和 2 年度：会員企業 16 社に 26 名
(機械工学科：6 名、電気電子工学科：5 名、電子情報工学科：2 名、生物応用化学科：5 名、
材料工学科：7 名、総合イノベーション工学専攻：1 名)
- ・令和 3 年度：会員企業 15 社に 27 名
(機械工学科：8 名、電気電子工学科：4 名、電子情報工学科：1 名、生物応用化学科：4 名、
材料工学科：5 名、総合イノベーション工学専攻：5 名)
- ・令和 4 年度：会員企業 21 社に 36 名
(機械工学科：7 名、電気電子工学科：8 名、電子情報工学科：8 名、生物応用化学科：3 名、
材料工学科：5 名、総合イノベーション工学専攻：5 名)
- ・令和 5 年度：会員企業 15 社に 31 名
(機械工学科：8 名、電気電子工学科：5 名、電子情報工学科：3 名、生物応用化学科：1 名、
材料工学科：10 名、総合イノベーション工学専攻：4 名)
- ・令和 6 年度：会員企業 16 社に 34 名
(機械工学科：8 名、電気電子工学科：5 名、電子情報工学科：1 名、生物応用化学科：3 名、
材料工学科：8 名、総合イノベーション工学専攻：9 名)
- ・令和 7 年度：会員企業 31 社に 57 名
(機械工学科：9 名、電気電子工学科：8 名、電子情報工学科：8 名、生物応用化学科：11 名、
材料工学科：10 名、総合イノベーション工学専攻：11 名)

4. 会員数の推移について

	企業会員	個人会員	特別会員	退会企業
平成 25 年 設立総会(3 月)	27 社	2 名	2 団体	一社
平成 26 年度 総会(5 月末)	47	4	8	8
平成 27 年度 総会(5 月末)	50	4	9	1
平成 28 年度 総会(5 月末)	58	6	10	3
平成 29 年度 総会(5 月中旬)	63	6	11	1
平成 30 年度 総会(5 月末)	94	9	12	1
令和元年度 総会(4 月末)	116	15	12	3
令和 2 年度 総会(4 月末)	128	18	13	6
令和 3 年度 総会(3 月末)	147	18	13	2
令和 4 年度 総会(3 月末)	154	20	15	8
令和 5 年度 総会(3 月末)	170	20	16	13
令和 6 年度 総会(3 月末)	178	21	16	5
令和 7 年度 総会(3 月末)	183	21	15	17
令和 8 年度 総会(3 月末)	198	24	15	13